

流山市役所で2人展を開催 漆原米子さん(江戸川台西在住)

流山市役所ロビーの市民ギャラリーで7月30日(金)まで「水墨画2人展 漆原米子・俊晶子」を開催中です(平日8時30分~17時15分)。漆原米子さんは1942年東京都生まれ。水墨画に魅せられ、数年習っていました。流山への転居により中断。50代から再び習いはじめ、文部科学大臣賞を筆頭に雪舟国際美術協



「流山本町」と漆原さん。

会展では大賞、流山市展では流山市美術家協会賞などを受賞しました。台湾の国立美術館に出展したり、恩師らと中国やインドネシアなど国内外へスケッチ旅行へ行き、山水画を楽しんだり水墨画を通してたくさん思い出を作ったそう。



「墨の濃淡だけで表す水墨画は描き直しが出来ない一発勝負。山水画の技法や身近な素材を使い、どう活かすか考えるのも楽しい」と漆原さん。

前民生委員として地域に寄り添い、現在も流山市老人クラブ連合会の役員を引き受けるなど地域社会へ貢献されています。これから流山の身近な風景を描いていきたいと話しました。

「ポット」でフードドライブ 食品提供をお願いします

江戸川台東口商店街にある、手作り品販売の店「レポット」では、今年1月から、レトルト食品やお菓子類などを家庭で眠っている食品を受付する取り組みをスタート。集まった提供品は、みんなの江戸川台キッチン(加藤美佳里代表へ寄付され、



左から園部さん・加藤さん・奥脇さん



賞味期限2カ月前までのものを募集

必要としている人へ届けられます。「店舗がないとも回収場所になることで、地域をつなぐ場になれたら嬉しい」と店長の園部正子さんとスタッフの奥脇敦子さん。回収は月曜~金曜10時30分~14時の営業時間内に行っています。園部加藤090-5493-8671

●運河近辺でも開始
コープみらい東深井店でも7月7日からレジ先の袋詰め台近くにとうかつ草の根フード

ながれやま節電チャレンジ 今年の景品はマロンのお菓子

恒例の「ながれやま節電チャレンジ」が今年も開催中です。7月から9月までの期間中、ひと月でも前年の同月より10%以上節電していれば応募でき(1世帯1回のみのみ)、抽選で13世帯に流山産みりんを使ったマロン洋菓子店の焼き菓子詰め合わせがプレゼント



パンクの食品回収ボックスを設置。お買い物ついでに提供できます。



眠ってる食材を必要な団体に届けよう

されず。昨年7月9月に電気使用量を10%削減した世帯は、1%の削減で応募可能。応募用紙(北部公民館などで配布)に電力会社の明細書を添付(コピー可)し、環境政策課へ郵送、FAX(0128-0277)、メールもしくは直接窓口へ、10月15日必着。環境政策課0715-06083



こちらから

- 森の図書館劇場「スクリーンで見る京都文化継承」8/29(日)13:30~15:30、先着30人、無料、[☎7722\(木\)10:00](tel:0772210000)~電話
- 運河駅ギャラリー 運河駅改札横、[☎7153-8555](tel:071538555)、月・火休館
- オリパラ記念展示「応援メッセージを書いて利根運河に花火をあげよう」7/21(水)~9/5(日)寄せられたメッセージを花火の形に展示
- 夏休み子ども社会科教室 8/4(水)9:30ギャラリー集合、交流館11:30解散、河川事務所見学など、小学生親子10組20人、1組500円、[☎7/21\(水\)10時](tel:077211010)~電話、先着順
- フードパントリー 寄付等で集めた食材などを無料配布、なくなり次第終了
- 生涯大学校(北部公民館隣) 7/17(土)11:00~食材配布、[☎7152-1181](tel:071521181)
- みんなの江戸川台キッチン 7/18(日)12:00~弁当配布、江戸川台東自治会館、[☎090-5493-8671](tel:09054938671)
- おもちゃ病院 問竹村 [☎070-8315-3330](tel:07083153330)
- 江戸川台児童センター 7/15(木)10:00~11:00、●県民プラザ(同プラザ欄参照)、●森の図書館 8/14(土)13:00~15:30
- その他
- テイクアウト青空マルシェ 7/16(金)11:00~売切れ次第終了、江戸川台東口駅前ロータリー、お弁当や総菜を販売
- バリアフリー演劇鑑賞会「まさに真理は自ずと勝利する」7/18(日)13:30~14:30、流山市文化会館、出演=東葛飾高校演劇部、無料、要申込、[☎7158-3462](tel:071583462)
- パワーポイントで作る「アルバムのスライドショー」7/20(火)・21(水)・27(火)9:30~11:30、北部公民館、ノートパソコン持参、要申込、[☎7155-2607](tel:071552607)(夜間受付)
- 劇団おたかの風公演「俺たちは、これで、うまく行ってるほうじゃないかなあ」8/7(土)~9(月・祝)①12:00~、②15:30~(各回70分・7日は②のみ)、ギャラリー平左衛門、各回10人、無料(カンパ制)、要申込、[☎info.otakanokaze@gmail.com](mailto:info.otakanokaze@gmail.com)
- 映画「咲む(えむ)」流山市上映会 8/8(日)①10:30~12:30、②14:00~16:00、流山市文化会館、高校生以上1200円、小中学生500円、要申込、[☎7150-5191-3698](tel:0715051913698)
- ゴーヤの集い 8/23(月)14:00~15:45、初石公民館、自治会や小学校の取り組みを紹介、20人、無料、要申込(先着順)、[☎7150-6083](tel:071506083)


お詫び 前月号で発行年号が間違っておりました。お詫びして訂正いたします。

- まちの健康研究所あ・した [☎7197-7713](tel:071977713) KOIL4階(7/17~31は移転のため休業、8/1ららぽーと柏の葉北館3階にリニューアルオープン)、無料(要登録)、申込不要(入場制限あり)、●食ミニ講座「ねばねば野菜」7/15(木)14:00~14:30、6人、講師=大瀬由生子氏(料理研究家)
- 北部公民館 [☎7153-0567](tel:071530567)
- 当日先着順のイベント(無料・申込不要)
 - ななかよしひろば「リトミック」7/21(水)10:00~11:30、親子20組、●夏のおはなしのへや 7/29(木)10:00~11:30、親子20組、大型絵本やパネルシアターなど
 - かんたんハンドメイド「ドライほおずきで作るモビール」8/4(水)13:00~15:00、10人、100円、[☎7/21](tel:077211010)~受付、先着順
- 森の図書館 [☎7152-3200](tel:071523200) 7/20(火)~8/31(火)は毎日開館
- ジオラマ工房作品展「流鉄と流山本町境界」8/1(日)~31(火)9:30~17:00(初日13:00~、最終日15:00まで)、ギャラリーガラスケース

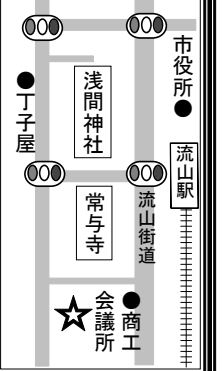
地域情報

イベントは中止になる可能性があります。開催状況や来館時マスク着用などの注意事項をご確認の上、ご参加ください。

- さわやかちば県民プラザ [☎7140-8600](tel:071408600)、月曜休所(8/9は開所、翌日休所)
- さわやか子ども鉄道乗車会 8/7(土)13:00~15:30、機関車の運転、当日受付、無料、※おもちゃ病院も同時開催
- ものづくりワークショップ 8/8(日)受付:10:00~11:30、13:00~14:30、万華鏡・帆船・押し花の額絵など、当日受付、300~1000円(材料費)
- 柏の葉アカデミア講座Ⅱ「子どもと向き合う~家庭教育の重要性」 8/28(土)14:00~15:30、講師=上條理恵氏(東京経営短期大学)、60人、無料、要申込(Web・電話・来所)、8/14締切
- さわやかテラス 旧レストランスペースは学習・

- 江戸川台・運河の地域情報募集 お知らせやメッセージ(非営利)を無料で掲載します。希望の方は、内容・連絡先を明記し、前月25日までに1面右上の宛先へお寄せください。
- 休憩の場として一般に開放中、軽食・飲料の自販機あり
- 県立柏の葉公園 事務所 [☎7134-2015](tel:071342015)
- ストレッチ講習会 7/21(水)・8/6(金)10:00~11:30、210円、各30人、要申込(8月分は7/16~)、体育館 [☎7134-3500](tel:071343500)
- 緑の講習会 「この秋絶対に育てたい球根!」  9/15(水)13:30~15:30、20人、無料、要申込(8/5~)
- 柏の葉ウオーキングクラブ 体育館前9:00受付、当日申込、200円、[☎090-8499-5454](tel:09084995454)、
- ①ノルディックウォーク 7/27(火)、ポールレンタル料別途300円、
- ②ウオーキング教室 8/3(火)、5km

わがまち・ふるさと再発見!
●身近な史跡めぐり
1 金子市之丞 田村哲三 業内後 講談



閻魔堂・閻魔大王像

本紙、平成28年7月14日発行の第38話で、紹介した金子市之丞については、地元の伝説の他に講談と歌舞伎があります。講談は幕末の頃、講師2代目松林伯円が創作したもので題名は「天保六花撰」。5人の悪党と1人の花魁の物語です。講談のモデルとなった人物は、吉野家文書にある「流山無宿金子屋半七伴市」
□□事かねいち悪党 盗賊に付・・・(文化10年12月)の金市と思われ、金市の父、半七は酒造業を営んでいました。以下、金子市之丞の場のあらすじを紹介します。時は天保時代。市之丞は流山の醤油醸造業金子屋に生まれ、姉が1人いました。子どもの頃に父が亡くなり、家も傾き、13歳の時、恩ある醤油問屋から三百両を強請り取ったことから母親に勘当されてしまいます。その金を元手に博徒の道に入った市之丞は、腕と度胸でめきと売り出し、ピン小僧の金市と呼ばれました。19歳の頃、親分の急死で、1番の子分だった金市が跡目を継ぎ、子分600人を抱える大親分となります。しかし法度の博徒ですから役人に追われ、役人の片腕を切り落としたことから凶状持ちとな



講談天保六花撰を読む神田すず師匠

一方、吉原大口楼の花魁三千歳は、恋仲の片岡直次郎(直侍)がたびたび金の無心をするので愛想が尽きていました。その頃、三千歳のもとに通う金市の気風に惚れ、三千歳は金市に乗り換えてしまいます。怒った直侍は、役人に金市の凶状持ちを告げ、金市は捕らわれます。伝馬町の牢獄から取り調べの奉行所に行く途中、自分の丑松の手助けでモッコ抜けを計画。金市は小用のため公衆トイレ(街角に4斗樽を埋め板囲いしたもの)に寄り、暗闇の中、丑松は酔った侍姿で現れると、金市に刀を取らせ、その刀で縄目を切り逃走します。余談ですが、病気の罪人は「おだて」という筈のモッコに乗っていくことから「おだてに乗るな」という言葉が生まれました。モッコ抜けをした金市は、流山の母に会いに行く途中に奇った風呂屋で、按摩の話を持ち出すことで、心労のあまり病に伏し、入谷の大口楼の寮

で静養していることを知ります。按摩の後を追った金市は三千歳と会い、花魁の真の愛を知ることになります。そして流山に向かう途中、金市は役人に見つかり、母に会う猶予を貰い実家に向かいますが、母は7日前にすでに亡くなっていました。姉は勘当されている金市を家に入れることはありませんでした。自棄になった金市は、役人との約束を反故にして関西に向かってしまいます。金市は、三重県の桑名では心中しようとする若い男女を助け、京都では宿の女中に因縁を付ける江戸から来た男を仲裁します。その男から江戸の様子を聞くと、江戸では、すでに河内山宗俊や片岡直次郎、暗闇の丑松が捕らわれ処刑されたこと聞き、ここらが年貢の納め時と悟った金市は意を決し、流山に舞い戻り、かつて母親に会うまでと約束した役人、万屋甚兵衛に手柄を立てさせようと甚兵衛を訪ねます。甚兵衛の子分たちは、金市を取り囲むが、金市が剣の使い手であることを知っているため、誰一人前には出ません。金市は「甚兵衛、いつか猶予を貰った約束、少し長くなったが返して来た。てめいのお縄を頂戴して送られようじゃないか」と刀を投げ出し、お縄となりました。